

岩木山噴火警戒レベルに応じた具体的な防災対応

平成28年2月5日策定

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	想定される火山現象、影響範囲内 の保全対象施設及び道路等	防災対応
噴火予報（予報）	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	<p>【火山活動の状況】 火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。</p> <p>【警戒範囲】 (活動状況に応じて水蒸気噴火の想定火口域内の一部)</p> <p>【登山道・登山口】 <弘前市管理登山道・登山口:5箇所> ・大石赤倉登山道 (赤倉神社～赤倉沢～岩小屋～岩御堂～鬼の土俵(合流点)～赤倉御殿～山頂) (赤倉神社～三角石～鬼の庭～鬼の土俵(合流点)～赤倉御殿～山頂) ・弥生登山道 (弥生バス停向い～大山祇神社～古い社跡～大開き～山頂) ・百沢登山道 (岩木山神社脇～桜林公園～七曲り～鼻コクリ～カラスの休場～焼止ヒュッテ～種蒔苗代～鳳鳴ヒュッテ～山頂) ・嶽登山道 (嶽温泉郷(もしくは羽黒入口)～巨木の森～8合目ターミナル～鳥ノ海噴火口～鳳鳴ヒュッテ～山頂)</p> <p><管理者不在登山道・登山口:1箇所> ・長平登山道 (石神社～鳳鳴高校慰霊碑～長平清水～追子森分岐～山の神石～山頂)</p> <p>【道路】 <県管理道路> ・県道弘前岳繻ヶ沢線、岩木山環状線、長平森田線、相馬常盤野線、松代町陸奥赤石停車場線</p> <p><その他管理者道路> ・市道、町道、農道、林道 ・岩木山スカイライン</p>	<p>【対応】 ⇒ 通常対応 (状況に応じて火口内への立入規制等)</p> <p>【周知方法】 ・岩木山スカイライン8合目ターミナルのスピーカーによる周知 ・登山道、スキー場、岩木山スカイラインゲート前の立て看板による周知 ・市町村ホームページ、ハザードマップによる情報提供 ・駅、バスターミナル、旅行会社等への情報提供 ・嶽温泉、百沢温泉郷ほかの旅館組合等やスキー場への情報提供</p> <p>【施設】 ⇒ 規制なし</p> <p>【観光客】 ⇒ 規制なし</p> <p>【登山道】 ⇒ 規制なし</p> <p>【道路】 ⇒ 規制なし (冬期閉鎖区間あり)</p> <p>○火山の状況に関する解説情報によっては避難準備情報を発令 想定火口域の縁から概ね500mにある施設に避難準備情報を発令 ・山頂リフト ・岩木山スカイライン8合目ターミナル ・避難小屋等(3箇所) (山頂避難小屋、鳳鳴ヒュッテ、焼止ヒュッテ)</p>

岩木山噴火警戒レベルに応じた具体的な防災対応

平成28年2月5日策定

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	想定される火山現象、影響範囲内 の保全対象施設及び道路等	防災対応
火口 周辺 警報 (警報)	火口 周辺	レ ベ ル 2 火口 周 辺 規 制	<p>【火山活動の状況】 火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。</p> <p>【警戒範囲】 大きな噴石・水蒸気噴火の想定火口域の縁から概ね500m以内の範囲</p> <p>【施設】 ・避難小屋等(3箇所) (山頂避難小屋、鳳鳴ヒュッテ、焼止ヒュッテ) ・山頂リフト ・岩木山スカイライン8合目ターミナル</p> <p>【登山道・登山口】 <弘前市管理登山道・登山口:5箇所> ・大石赤倉登山道 (赤倉神社～赤倉沢～岩小屋～岩御堂～鬼の土俵(合流点)～赤倉御殿～山頂) (赤倉神社～三角石～鬼の庭～鬼の土俵(合流点)～赤倉御殿～山頂) ・弥生登山道 (弥生バス停向い～大山祇神社～古い社跡～大開き～山頂) ・百沢登山道 (岩木山神社脇～桜林公園～七曲り～鼻コクリ～カラスの休場～焼止ヒュッテ～種蒔苗代～鳳鳴ヒュッテ～山頂) ・嶽登山道 (嶽温泉郷(もしくは羽黒入口)～巨木の森～8合目ターミナル～鳥ノ海噴火口～鳳鳴ヒュッテ～山頂)</p> <p><管理者不在登山道・登山口:1箇所> ・長平登山道 (石神神社～鳳鳴高校慰霊碑～長平清水～追子森分岐～山の神石～山頂)</p> <p>【道路】 ・岩木山スカイライン</p> <p>※特定地域について 弘前市常盤野町会は、警戒範囲に隣接しているため、他の居住地域と区別して、早い段階の防災対応をとるために特定地域とする。</p>	<p>【対応】 ⇒ 警戒範囲への立入規制 (状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断)</p> <p>警戒範囲内施設に避難指示を発令</p> <p>鳥ノ海火口から概ね3.5km以内にある施設、特定地域に避難準備情報を発令</p> <p>【周知方法】 ・岩木山スカイライン8合目ターミナルのスピーカーによる周知 ・登山道、スキー場、岩木山スカイラインゲート前の立て看板による周知 ・市町村ホームページ、ハザードマップによる情報提供 ・駅、バスターミナル、旅行会社等への情報提供 ・嶽温泉、百沢温泉郷ほかの旅館組合等やスキー場への情報提供</p> <p>【施設】 ⇒ 閉鎖</p> <p>【観光客】 ⇒ 立入規制</p> <p>【登山道】 ⇒ 立入規制 ※警戒範囲内のみ規制</p> <p>【道路】 ⇒ 通行規制</p>

岩木山噴火警戒レベルに応じた具体的な防災対応

平成28年2月5日策定

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	想定される火山現象、影響範囲内 の保全対象施設及び道路等	防災対応
火口周辺警報（警報）	火口から居住地域近くまで	レベル3 (入山規制)	<p>【火山活動の状況】 居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。</p> <p>【警戒範囲】 大きな噴石、融雪型火山泥流、火砕流・火砕サージ: 鳥ノ海火口から概ね3.5km以内の範囲</p> <p>【特定地域】 <弘前市> ・岩木地区(常盤野町会)</p> <p>【施設】 ・避難小屋等(3箇所) (山頂避難小屋、鳳鳴ヒュッテ、焼止ヒュッテ) ・山頂リフト ・岩木山スカイライン8合目ターミナル ・百沢スキー場 ・青森スプリングスキーリゾート</p> <p>【登山道・登山口】 <弘前市管理登山道・登山口:5箇所> ・大石赤倉登山道 (赤倉神社～赤倉沢～岩小屋～岩御堂～鬼の土俵(合流点)～赤倉御殿～山頂) (赤倉神社～三角石～鬼の庭～鬼の土俵(合流点)～赤倉御殿～山頂) ・弥生登山道 (弥生バス停向い～大山祇神社～古い社跡～大開き～山頂) ・百沢登山道 (岩木山神社脇～桜林公園～七曲り～鼻コクリ～カラスの休場～焼止ヒュッテ～種蒔苗代～鳳鳴ヒュッテ～山頂) ・嶽登山道 (嶽温泉郷(もしくは羽黒入口)～巨木の森～8合目ターミナル～鳥ノ海噴火口～鳳鳴ヒュッテ～山頂)</p> <p><管理者不在登山道・登山口:1箇所> ・長平登山道 (石神社～鳳鳴高校慰霊碑～長平清水～追子森分岐～山の神石～山頂)</p> <p>【道路】 ・岩木山スカイライン</p> <p>-----</p> <p>【避難所】 ・岩木B&G海洋センター ・鱒ヶ沢中学校第2体育館</p> <p>※特定地域について 弘前市常盤野町会は、警戒範囲に隣接しているため、他の居住地域と区別して、早い段階の防災対応をとるために特定地域とする。</p>	<p>【対応】⇒ 警戒範囲への立入規制 (状況に応じて規制範囲を判断)</p> <p>警戒範囲内の施設、特定地域に避難指示発令</p> <p>居住地域の避難行動要支援者に避難準備情報を発令 (状況に応じて対象地域等を判断)</p> <p>【周知方法】 ・防災行政無線、広報車、他メディアによる周知(保全地域の町会長等へも連絡) ・岩木山スカイライン8合目ターミナルのスピーカーによる周知 ・登山道、スキー場、岩木山スカイラインゲート前の立て看板による周知 ・市町村ホームページ、ハザードマップによる情報提供 ・駅、バスターミナル、旅行会社等への情報提供 ・嶽温泉、百沢温泉郷ほかの旅館組合等やスキー場への情報提供</p> <p>【施設】 ⇒ 閉鎖</p> <p>【観光客】 ⇒ 立入規制</p> <p>【登山道】 ⇒ 登山禁止</p> <p>【道路】 ⇒ 通行規制</p> <p>【体制】 ・現地対策本部を設置し、火山活動に応じた防災対応の検討を開始 ・関係機関と連携しての現地パトロールの強化を検討 ・避難所開設</p>

岩木山噴火警戒レベルに応じた具体的な防災対応

平成28年2月5日策定

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	想定される火山現象、影響範囲内 の保全対象施設及び道路等	防災対応
噴火警報（特別警報）	居住地域及びそれより火口側	レベル 4 (避難準備)	<p>【火山活動の状況】</p> <p>居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。</p> <p>【警戒範囲】</p> <p>火砕流・火砕サージ: 鳥ノ海火口から概ね9km以内の範囲で影響が及ぶと予想される居住地域</p> <p>融雪型火山泥流: 鳥ノ海火口から概ね9km以内の範囲及び岩木山源流の河川流域で影響が及ぶと予想される居住地域</p> <p>大きな噴石: 鳥ノ海火口から概ね3.5km以内の範囲</p>	<p>【対応】⇒ 警戒範囲への立入規制</p> <p>居住地域の避難行動要支援者に避難指示発令</p> <p>居住地域に避難準備情報を発令 (状況に応じて対象地域等を判断)</p> <p>【周知方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、他メディアによる周知(保全地域の町会長等へも連絡) ・市町村ホームページ、ハザードマップによる情報提供 ・駅、バスターミナル、旅行会社等への情報提供 <p>【施設】⇒ 閉鎖</p> <p>【道路】⇒ 通行規制 (状況に応じて規制を判断)</p> <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地対策本部を設置し、火山活動に応じた防災対応の実施 ・関係機関と連携しての現地パトロールの強化 ・避難所開設
			<p>【地域】</p> <p><弘前市></p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩木地区、東目屋地区、裾野地区、船沢地区 <p>*融雪型火山泥流が発生すると予想される場合は以下の地区も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相馬地区、高杉地区、新和地区、藤代地区(河川) ・岩木川、大蜂川、旧大蜂川、蔵助沢川、後長根川、大秋川、湯段沢川、湯沢、鶏川、血洗川、多沢川、前范川、大石川、大川、轡川、白狐川 <p><鱒ヶ沢町></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村地区 <p>*融雪型火山泥流が発生すると予想される場合は以下の地区も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴沢地区、舞戸地区、鱒ヶ沢地区(河川) ・中村川、鳴沢川、徳明川、赤沢 <p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・索道の停留所、宿泊施設、社会福祉施設、学校、医療施設等 <p>【道路】</p> <p><県管理道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道弘前岳鱒ヶ沢線、岩木山環状線、長平町森田線、相馬常盤野線、松代町陸奥赤石停車場線 <p>*融雪火山泥流が発生すると予想される場合は以下の路線も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道101号、県道岩崎西目屋弘前線、弘前鱒ヶ沢線、五所川原岩木線、弘前柏線、弘前環状線、鳴沢停車場南浮田線、鳴沢停車場線、鬼沢種市線、前坂藤崎線、関ヶ平五代線、鱒ヶ沢停車場線 <p><その他管理者道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道、町道、農道、林道、岩木スカイライン <hr/> <p>【避難所・避難場所】</p> <p>警戒範囲外の指定避難所及び指定避難場所(鱒ヶ沢町は近隣市町へ避難も含む)</p>	

岩木山噴火警戒レベルに応じた具体的な防災対応

平成28年2月5日策定

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	想定される火山現象、影響範囲内 の保全対象施設及び道路等	防災対応
噴火警報（特別警報）	居住地域及びそれより火口側		<p>【火山活動の状況】 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。</p> <p>【警戒範囲】 火砕流・火砕サージ：鳥ノ海火口から概ね9km以内の範囲で影響が及ぶと予想される居住地域 融雪型火山泥流：鳥ノ海火口から概ね9km以内の範囲と岩木山源流の河川流域の居住地域 大きな噴石：鳥ノ海火口から概ね3.5km以内の範囲</p>	
		レベル5（避難）	<p>【地域】 <弘前市> ・岩木地区、東目屋地区、裾野地区、船沢地区 *融雪型火山泥流が発生すると予想される場合は以下の地区も含む ・相馬地区、高杉地区、新和地区、藤代地区（河川） ・岩木川、大蜂川、旧大蜂川、蔵助沢川、後長根川、大秋川、湯段沢川、湯沢、鶏川、血洗川、多沢川、前范川、大石川、大川、轡川、白狐川</p> <p><鯉ヶ沢町> ・中村地区 *融雪型火山泥流が発生すると予想される場合は以下の地区も含む ・鳴沢地区、舞戸地区、鯉ヶ沢地区（河川） ・中村川、鳴沢川、徳明川、赤沢</p> <p>【施設】 ・索道の停留所、宿泊施設、社会福祉施設、学校、医療施設等</p> <p>【道路】 <県管理道路> ・県道弘前岳鯉ヶ沢線、岩木山環状線、長平町森田線、相馬常盤野線、松代町陸奥赤石停車場線 *融雪火山泥流が発生すると予想される場合は以下の路線も含む ・国道101号、県道岩崎西目屋弘前線、弘前鯉ヶ沢線、五所川原岩木線、弘前柏線、弘前環状線、鳴沢停車場南浮田線、鳴沢停車場線、鬼沢種市線、前坂藤崎線、関ヶ平五代線、鯉ヶ沢停車場線</p> <p><その他管理者道路> ・市道、町道、農道、林道、岩木スカイライン</p> <hr/> <p>【避難所・避難場所】 警戒範囲外の指定避難所及び指定避難場所（鯉ヶ沢町は近隣市町へ避難も含む）</p>	<p>【対応】⇒ 警戒範囲への立入規制 居住地域に避難指示を発令 （状況に応じて対象地域等を判断）</p> <p>噴火による融雪型火山泥流が発生した直後は、緊急に避難することを基本とし、水平避難や状況に応じて垂直避難も行う。 垂直避難の具体例として ①高台への避難 ②屋内2階への避難 ③屋内の安全な場所への避難</p> <p>【周知方法】 ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、他メディアによる周知（保全地域の町会長等へも連絡） ・市町村ホームページ、ハザードマップによる情報提供 ・駅、バスターミナル、旅行会社等への情報提供</p> <p>【施設】 ⇒ 閉鎖</p> <p>【道路】 ⇒ 通行規制</p> <p>【体制】 ・現地対策本部を設置し、火山活動に応じた防災対応の実施 ・避難所開設</p>